



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

第6回 日本安全性薬理研究会 学術年会 プログラム

<1日目> 2015年2月20日(金曜日)

10:00~17:00 ポスター発表展示 <アネックス セイホクギャラリー>

9:50~10:00 開会挨拶 <弥生講堂 一条ホール>

第6回学術年会会長 田保 充康(中外製薬株式会社)

10:00~11:50 シンポジウム1(循環器系) <弥生講堂 一条ホール>

「QT延長評価から催不整脈評価へ」

座長: 千葉 克芳(第一三共株式会社), 長田 智治(株式会社LSIメディエンス)

1. ヒトiPS/ES細胞技術を用いた心毒性評価系の実用性検証(CSAHi HEART:活動報告)
高砂 浄(第一三共株式会社 安全性研究所)
2. コンピュータの中の心臓(UT-Heart)を用いて不整脈リスクを評価する
杉浦 清了(東京大学大学院 新領域創成科学研究科)
3. 非臨床不整脈リスク評価と臨床薬理におけるモデリングアプローチ
中村 己貴子(中外製薬株式会社 臨床開発本部 臨床企画推進部)

12:10~13:10 ランチョンセミナー1 <農学部 1号館 8番教室>

1. 一般毒性試験における心循環器系組み込み評価の向上に向けて
~JETシステムを用いた取り組み~
竹藤 順子、小松 竜一(中外製薬株式会社 研究本部)
(プライムテック株式会社 主催)
2. ヒトiPS細胞由来分化細胞の創薬展開
早乙女 秀雄(株式会社iPSポータル プロダクト開発事業部)
(株式会社iPSポータル 主催)

13:30~14:30 教育講演 <弥生講堂 一条ホール>

座長: 田保 充康(中外製薬株式会社)

「幹細胞由来心筋細胞を用いた心臓薬理学研究の基礎から応用まで」

黒川 洵子(東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体情報薬理学分野)

14:45~16:35 一般演題発表 <弥生講堂 一条ホール>

座長：田澁 弘行 (株式会社イナリサーチ), 安藤 博之 (小野薬品工業株式会社)

1. Challenges in detection of premonitory electroencephalographic (EEG) changes of drug-induced seizure using a non-human primate EEG model

塩谷 元宏 (エーザイ株式会社 筑波安全性研究部)

2. Web 掲載不可

3. Effects of class I antiarrhythmic drugs on the electrical excitation and conduction in the human iPS cell-derived cardiomyocyte sheet

中瀬古 (泉) 寛子 (東邦大学 医学部 薬理学講座)

4. Multi-spheroid imaging analysis of human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte by Cellvoyager CV7000 system for the assessment of in vitro cardiotoxicity

長倉 延 (エーザイ株式会社 筑波研究所 グローバル CV 評価部)

座長：尾崎 晴茂 (武田薬品工業株式会社), 金納 明宏 (株式会社薬物安全性試験センター)

5. Utility of halothane-anesthetized guinea pig as a model to assess the drug-induced QT-interval prolongation: why can *dl*-sotalol prolong the QT interval in vivo despite its weak inhibitory effect on hERG K⁺ channels in vitro?

片木 淳 (東邦大学 医学部 薬理学講座)

6. Apomorphine does NOT induce long QT syndrome: experimental evidence from in vivo canine models

渡辺 雄大 (東邦大学 医学部 薬理学講座)

7. Electropharmacological effects of a selective EP4-receptor stimulation by ONO-AE1-329 assessed by the halothane-anesthetized canine model

野村 浩明 (東邦大学 医学部 薬理学講座)

16:50~17:50 海外招待講演 <弥生講堂 一条ホール>

座長：澤田 光平 (エーザイ株式会社)

「The cardiac in vitro proarrhythmia initiative (CiPA): goals, progress, and paths forward」

Gary Gintant (AbbVie Inc.)

18:30~ 懇親会 <山上会館本館 食堂 談話ホール>

< 2日目 > 2015年2月21日(土曜日)

9:00~15:00 ポスター発表展示 <アネックス セイホクギャラリー>

9:00~10:50 シンポジウム2「中枢神経系」<弥生講堂 一条ホール>

「中枢神経系研究の最前線」

座長：林 誠治（日本新薬株式会社），出口 芳樹（株式会社新日本科学）

1. 光遺伝学を組み合わせた多角的解析による本能行動調節機構の解明
山中 章弘（名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野2）
2. 霊長類モデルを用いた脊髄損傷からの機能回復メカニズムに関する多元的研究
伊佐 正（自然科学研究機構生理学研究所 発達生理学研究室 認知行動発達機構研究部門）
3. パーキンソン病に対する iPS 細胞治療
高橋 淳（京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門）

11:00~12:20 ポスター発表 質疑・応答 <アネックス セイホクギャラリー>

12:30~13:30 ランチョンセミナー2 <農学部 1号館 8番教室>

1. iPS, ES 細胞由来の心筋細胞の拍動とアクションポテンシャルを同時に測定できる
"xCELLigence RTCA CardioECR"の紹介

v Haniel F (Axiogenesis AG)、Xiaoyu Z (ACEA Biosciences)
(株式会社スクラム/ACEA Biosciences Inc.主催)

2. 安全性薬理試験における行動評価：トランスレーショナルリサーチの試み
廣中 直行（株式会社 LSI メディエンス 創薬支援事業本部 薬理研究部）
(株式会社 LSI メディエンス主催)

14:00~15:30 ワークショップ <弥生講堂 一条ホール>

「これからの QT 延長・催不整脈リスク研究を現場レベルで考える」

座長：吉永 貴志（エーザイ株式会社），岡井 佳子（武田薬品工業株式会社）

1. *In silico* 心毒性予測ツールを実際の創薬研究でどのように使うのか？
久保 多恵子（大日本住友製薬株式会社 研究本部 前臨床研究所）
2. *In vivo* 評価をどのように位置づけて創薬を進めるのか？
本多 正樹（中外製薬株式会社 研究本部）
3. パネルディスカッション

16:00~17:00 安全性薬理 Q&A <弥生講堂 一条ホール>

ファシリテーター：

葛西 智恵子（アステラス製薬株式会社），横山 浩史（日本化薬株式会社）

17:00～ 閉会挨拶 <弥生講堂 一条ホール>

JSPS 優秀発表賞表彰式 選考委員長 田保 充康 (中外製薬株式会社)

閉会挨拶 第7回学術年会会長 林 誠治 (日本新薬株式会社)

以上